

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 主要経済指標予定 (2009年5月25日~5月29日)

発表日: 2009年5月22日 (金)

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 日本経済短期チーム
TEL: 03-5221-4528

(5月25日~5月29日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果	
5月25日 (月)	8:50 3月全産業活動指数 (前月比)	▲2.8%	▲2.3%	▲3.2%~▲1.7%	▲2.0%	
	(前年比)	▲11.6%	—	—	▲12.5%	
	14:00 5月金融経済月報 5月月例経済報告 白川日銀総裁講演					
5月26日 (火)	8:50 4月企業向けサービス価格指数 (前月比)	—	—	—	+0.9%	
	(前年比)	—	—	—	▲2.1%	
5月27日 (水)	8:50 4月貿易統計					
	輸出金額 (前年比)	▲40.7%	▲42.0%	▲44.0%~▲40.5%	▲45.5%	
	輸入金額 (前年比)	▲36.7%	▲36.9%	▲38.3%~▲34.9%	▲36.6%	
	貿易収支 (原数値)	185 億円	▲625 億円	▲3,770 億円~500 億円	103 億円	
	8:50 金融政策決定会合議事要旨 (4月30日分) 白川日銀総裁挨拶					
5月28日 (木)	8:50 4月商業販売統計					
	小売業販売額 (前年比)	▲2.9%	▲3.3%	▲5.5%~▲2.1%	▲3.8%	
5月29日 (金)	8:30 4月消費者物価指数・全国コア (前年比)	0.0%	▲0.1%	▲0.4%~+0.1%	▲0.1%	
	全国総合 (前年比)	▲0.2%	▲0.3%	▲0.5%~0.0%	▲0.3%	
	8:30 5月消費者物価指数・東京コア (前年比)	▲0.3%	▲0.6%	▲0.8%~▲0.1%	0.0%	
	東京総合 (前年比)	▲0.4%	▲0.7%	▲1.0%~▲0.3%	▲0.2%	
	8:30 4月労働力調査	完全失業率	5.0%	5.0%	4.8%~5.2%	4.8%
	8:30 4月一般職業紹介状況	有効求人倍率	0.48 倍	0.49 倍	0.47 倍~0.52 倍	0.52 倍
	8:30 4月家計調査(農林漁家世帯を含む)					
	実質消費支出・全世帯 (前年比)	▲0.6%	▲0.6%	▲2.0%~+0.5%	▲0.4%	
	実質消費支出・勤労者世帯 (前年比)	+0.7%	—	—	+0.7%	
	8:50 4月鉱工業生産指数 (前月比)	+3.1%	+3.3%	+1.0%~+4.7%	+1.6%	
	(前年比)	▲32.6%	▲32.5%	▲34.3%~▲31.1%	▲34.2%	
14:00 4月住宅着工統計						
新設住宅着工戸数 (前年比)	▲21.8%	▲22.0%	▲27.0%~▲13.6%	▲20.7%		
(季節値年率)	90.1 万戸	90.0 万戸	86.0 万戸~99.7 万戸	88.8 万戸		

(注) 市場予測は Bloomberg、日経 quick 調査をベースに作成

【重要指標の当社予測とコメント】

3月全産業活動指数 (前月比) 当社予想: 前月比 ▲2.8% 中央値: 同 ▲2.3%

3月の全産業活動指数は前月比▲2.8%を予想する。鉱工業生産指数が前月比+1.6%と6ヶ月ぶりにプラスに転じ、減産に歯止めがかかったとみられるものの、第3次産業活動指数は前月比▲4.0%と悪化が加速していることから、全産業活動指数の悪化が加速することが見込まれる。先行きについては、第3次産業活動指数の悪化が続く一方で、鉱工業生産指数に関しては、輸出の急速な減少に歯止めがかかりつつあることに加え、国内での在庫調整が進展していること、さらには生産予測指数において4、5月は上昇が予想されていることなどから、緩やかな回復が予想される。また、公共投資の補正予算効果も出始めていることから、建設業活動指数は上昇傾向で推移していきだろう。今後、全産業活動指数は下げ止まる可能性が高い。

(エコノミスト: 小杉 晃子)

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

4月貿易統計・貿易収支額（原数値） 当社予想：185億円 中央値：▲625億円

4月の貿易黒字額は185億円(原数値)と予想する。貿易統計の4月上中旬の実績をみると、世界的な在庫調整の進展や中国を中心とした景気対策効果などにより、輸出が前年比▲42.6%と、7ヶ月ぶりに減少幅が縮小した。輸出の急速な減少には歯止めがかかりつつある。実際、輸出に先行する米ISM、OECD景気先行指数などの指標をみても、ここにきて下げ止まりの兆しが窺えることから、輸出は今後、緩やかに持ち直していくことが予想される。輸出が緩やかな持ち直しに転じることで、先行き貿易黒字額も緩やかに増加していくであろう。(エコノミスト：小杉 晃子)

4月小売業販売額（前年比） 当社予想：前年比 ▲2.9% 中央値：同 ▲3.3%

4月の小売業販売額は前年比▲2.9%、前月比+0.7%を予想する。4月は、好天が多く気温も高めに推移したことから、夏物衣料などに動きがみられたものの、総じてみれば景気低迷を受けた雇用、所得環境の悪化を背景として、小売業販売額は低調に推移したと考えられる。(エコノミスト：中本 泰輔)

4月全国消費者物価指数（生鮮食品除く総合） 当社予想：前年比 0.0% 中央値：同 ▲0.1%

3月の全国CPIはマイナスに転じたが、4月はいったん前年比0.0%まで戻すことが予想される。これは、昨年の暫定税率期限切れに伴うガソリン価格下落の裏が出る(前年比で+0.5%ポイント程度の押し上げ)ためである。この要因を除けばマイナス幅は3月からむしろ拡大するとみられ、デフレ圧力が強まっていることが確認されるだろう。5月以降については、前年の原油価格が高騰していた裏が出ることもあり、CPIのマイナス幅は急拡大が予想される。夏場には▲2%半ばまで低下するだろう。

(主任エコノミスト：新家 義貴)

4月完全失業率／有効求人倍率 当社予想：5.0%／0.48倍 中央値：5.0%／0.49倍

4月の完全失業率は3月から0.2%ポイント悪化の5.0%を予想する。3月の結果を見ると、雇用者数が前年差▲51万人と大幅なマイナスとなった。求職理由別に失業者をみても、リストラなどの勤め先都合による失業が大きく増加しており、労働投入量の削減対象が正社員にまで及んでいると考えられる。4月は、厳しい決算の結果を踏まえて更なる雇用調整を決断する企業も出てくると思われる。引き続き雇用者数は減少し、失業率もさらに上昇するだろう。(エコノミスト：岩田 陽之助)

4月家計調査（農林漁家世帯を含む） 当社予想：前年比 ▲0.6% 中央値：同 ▲0.6%

4月の実質消費支出(全世帯)は前年比▲0.6%、前月比+0.2%を予想する。百貨店売上高をみると、好天もあってマイナス幅は小幅縮小したものの、雇用・所得環境の悪化から引き続き低調に推移しており、実質消費支出についても低調に推移した可能性が高いと考えられる。

個人消費は、定額給付金の支給などの経済対策効果や消費マインドの改善などを背景として、目先は上振れる公算が大きいだろう。ただし、雇用・所得環境の悪化が続いていくことから定額給付金効果が剥落した後は、再び低迷する可能性が高い。(エコノミスト：中本 泰輔)

4月鉱工業生産指数（前月比） 当社予想：前月比 +3.1% 中央値：同 +3.3%

4月は前月比+3.1%と2ヵ月連続の上昇を予想する。世界的な在庫調整の進展や輸出下げ止まりの兆しなどを背景として、生産は持ち直しの動きが続くだろう。ISM製造業景気指数(新規受注DI)などを踏まえれば、先行きの輸出は回復する可能性が高い。このため4-6月期の生産は、5四半期ぶりのプラスに転じる可能性が高いと考えられる。また、年度後半には各国の景気対策効果も顕在化することもあり、当面は

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

生産の持ち直しが続くと予想する。(副主任エコノミスト：齋藤 俊輔)

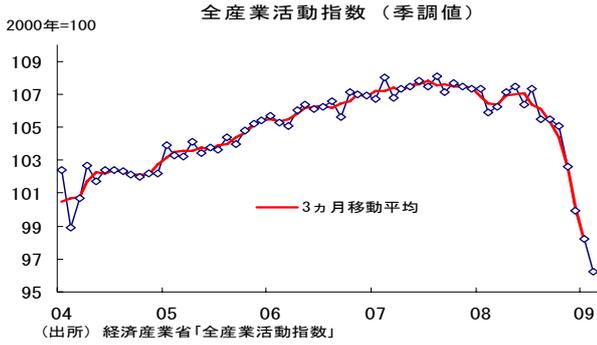
4月新設住宅着工戸数(前年比) 当社予想：前年比 ▲21.8% 中央値：同 ▲22.0%

4月の住宅着工戸数は、年率換算済み季節調整値は90.1万戸、前年比▲21.8%を予測する。雇用・所得環境の悪化、金融機関の融資態度の厳しさなどから、住宅着工は依然として低水準に止まると予想される。もっとも、1-3月期をさらに下振れるような結果は避けられる公算が大きい。マンション契約率の上昇など一部の先行指標には改善の兆しが見られる。また、住宅の値下がりや、各種の減税制度により購入予定者のマインドも改善傾向にある。昨年末から続く、大幅な着工減少には歯止めがかかってくる可能性がある。

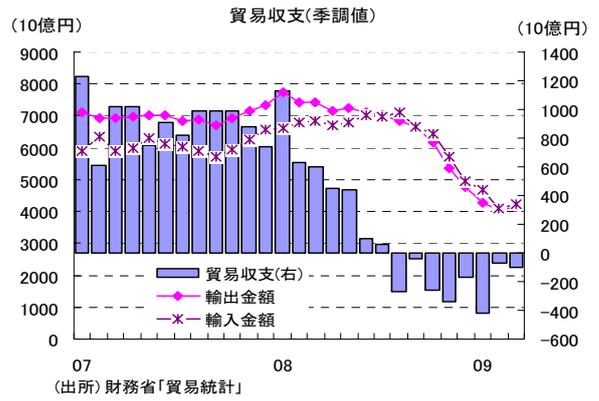
(エコノミスト：岩田 陽之助)

以上

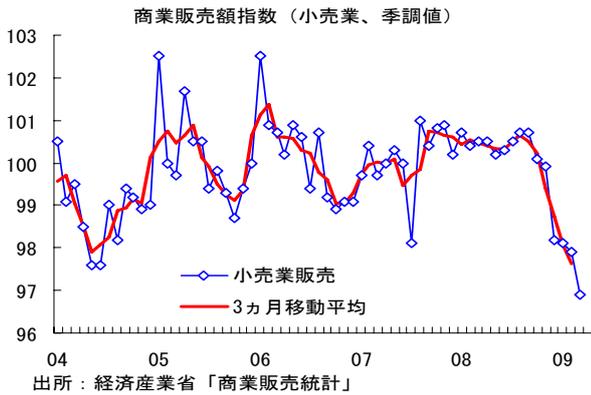
図表 1



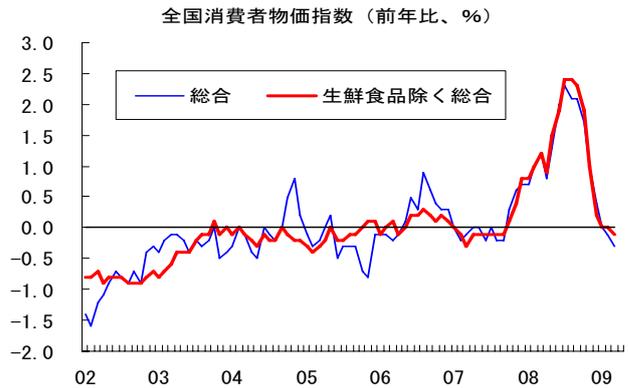
図表 2



図表 3



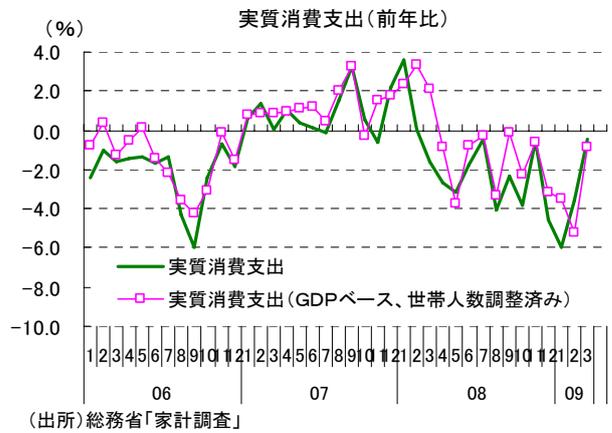
図表 4



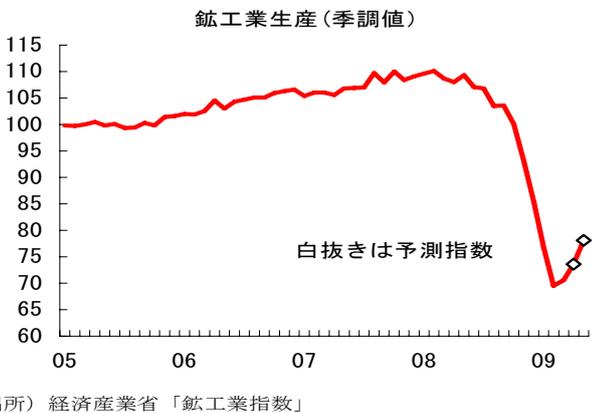
図表 5



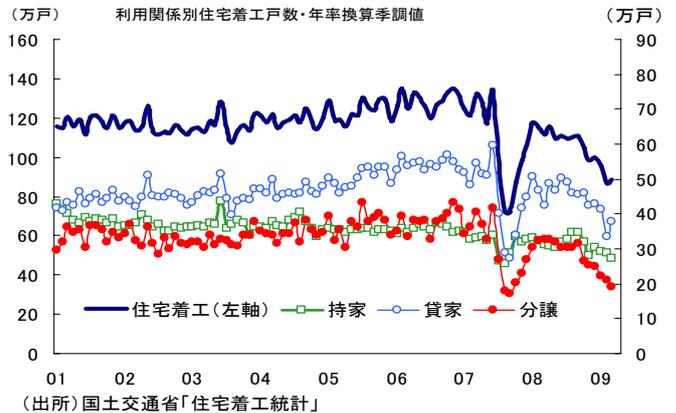
図表 6



図表 7



図表 8



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

5月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
4/27 ※(独)4月消費者物価(速)	28 3月商業販売統計(8:50) (米)CB消費者信頼感指数 (独)4月消費者物価(速)	29 (米)1-3月期GDP(速) (米)FOMC (マレーシア)金融政策委員会	30 3月鉱工業指数(8:50) 3月住宅着工統計(14:00) 4月日銀展望レポート(15:00) 日銀総裁定例記者会見 (15:30) 金融政策決定会合 (米)3月個人所得・消費 (米)4月シカゴPMI (欧)4月消費者物価(速) (ニュージーランド)金融政策委員会 (ブラジル)金融政策委員会 (南ア)金融政策委員会	5/1 3月消費者物価・全(8:30) 4月消費者物価・都(8:30) 3月労働力調査(8:30) 3月一般職業紹介状況(8:30) 3月家計調査(8:30) 3月毎月勤労統計(10:30) 4月自動車販売(14:00) 4月軽自動車販売(14:00) (米)4月シカゴ大消費者センテ (確) (米)4月ISM製造業指数 (米)4月自動車販売
4 (米)3月中古住宅販売保留 (米)3月建設支出 (米)4月ネット求人広告指数 (欧)4月製造業PMI(確)	5 (米)4月ISM非製造業指数 (欧)3月生産者物価 (インドネシア)金融政策委員会	6 (欧)4月サービス業PMI(確) (欧)3月小売売上高	7 4月マネタリーベース(8:50) (米)3月消費者信用残高 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策決定会合 (独)3月製造業受注	8 金融政策決定会合議事要旨(4月6,7日分)(8:50) 3月家計消費状況調査(14:00) (米)4月雇用統計 (米)3月卸売在庫 (独)3月鉱工業生産
11 (仏)3月鉱工業生産	12 3月景気動向指数(14:00) 10年利付国債 (米)3月貿易収支 (米)4月財政収支 (独)4月消費者物価(確) (韓)金融政策委員会	13 3月国際収支(8:50) 4月マネーストック(8:50) 4月貸出・資金吸収(8:50) 4月景気ウォッチャー調査 (14:00) 白川日銀総裁講演 (米)4月輸入物価 (米)4月小売売上高 (米)3月企業在庫 (欧)3月鉱工業生産 (仏)4月消費者物価	14 40年利付国債 (米)4月生産者物価	15 3月機械受注統計(8:50) 4月企業物価(8:50) 3月特定サービス産業動態統計調査(13:30) (米)4月消費者物価 (米)5月NY連銀指数 (米)3月対米証券投資 (米)4月鉱工業生産 (米)5月シカゴ大消費者センテ (速) (欧)4月消費者物価 (独)1-3月期GDP(改) (仏)1-3月期GDP(改) (伊)1-3月期GDP(改) (香港)1-3月期実質GDP (インドネシア)1-3月期実質GDP
18 5月ロイター短観(8:30) 3月毎月勤労統計・確(10:30) 3月商業販売統計・確(13:30) 3月建設総合統計(14:00) 4月消費動向調査(14:00) 4月全国百貨店売上高(14:30) (米)5月NAHB住宅市場指数 (欧)3月貿易収支	19 4月投入・産出物価指数(8:50) 3月鉱工業指数・確(13:30) 5年利付国債 (米)4月住宅着工件数 (米)4月建設許可件数	20 1-3月期GDP1次速報(8:50) 4月コンビニエンスストア統計(16:00) (タイ)金融政策委員会	21 3月第3次産業活動指数(8:50) 09年3月末市街地価格指数 (14:00) 金融政策決定会合(～22日) (米)4月景気先行指数 (米)5月フィラ連銀指数 ※(欧)5月サービス業PMI(速) ※(欧)5月製造業PMI(速)	22 3月景気動向指数改訂(14:00) 4月チェーンストア販売統計 (14:00) 日銀総裁定例記者会見 (15:30) (英)1-3月期GDP(改)
25 3月全産業活動指数(8:50) 5月金融経済月報(14:00) 5月月例経済報告 白川日銀総裁講演 (タイ)1-3月期実質GDP	26 4月企業向けサービス価格指数 (8:50) 20年利付国債 (米)5月CB消費者信頼感指数 (欧)3月経常収支 (マレーシア)金融政策委員会	27 4月貿易統計(8:50) 金融政策決定会合議事要旨(4月30日分)(8:50) 白川日銀総裁挨拶 (米)3月FHFA住宅価格指数 (米)4月中古住宅販売件数 (独)5月消費者物価(速)	28 4月商業販売統計(8:50) 2年利付国債 (米)4月耐久財受注 (米)4月新築住宅販売件数 (フィリピン)1-3月期実質GDP (フィリピン)金融政策委員会	29 4月消費者物価・全(8:30) 5月消費者物価・都(8:30) 4月労働力調査(8:30) 4月一般職業紹介状況(8:30) 4月家計調査(8:30) 4月鉱工業指数(8:50) 4月住宅着工統計(14:00) (米)1-3月期GDP(改) (米)5月シカゴPMI (米)5月シカゴ大消費者センテ (確) (欧)5月消費者物価(速)

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

6月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
6/1 4月毎月勤労統計(10:30) 5月自動車販売(14:00) 5月軽自動車販売(14:00) (米)4月個人所得・消費 (米)5月ISM製造業指数 (米)4月建設支出 (米)5月ネット求人広告指数 (欧)5月製造業PMI(確) (韓)1-3月期GDP	2 5月マネタリーベース(8:50) 10年利付国債 (米)4月中古住宅販売保留 (米)5月自動車販売 (豪)金融政策委員会	3 亀崎日銀審議委員挨拶 (米)5月ISM非製造業指数 (米)4月製造業受注 (欧)5月サービス業PMI (欧)4月生産者物価 (欧)1-3月期GDP(改) (豪)1-3月期GDP (尼)金融政策委員会	4 1-3月期法人企業統計(8:50) (欧)4月小売売上高 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策決定会合	5 4月家計消費状況調査(14:00) (米)5月雇用統計 (米)4月消費者信用残高
8 5月マネーストック(8:50) 5月貸出・資金吸収(8:50) 4月国際収支(8:50) 5月景気ウォッチャー調査 (独)4月製造業受注	9 4月特定サービス産業動態統計調査(13:30) 4月景気動向指数(14:00) 30年利付国債 (米)4月卸売在庫 (独)4月鉱工業生産 (露)1-3月期GDP (伯)1-3月期GDP	10 5月企業物価(8:50) 4月機械受注統計(8:50) (米)4月貿易収支 (米)5月財政収支 (米)ベージュブック (独)5月消費者物価(確) (仏)4月鉱工業生産 (伊)1-3月期GDP(確)	11 1-3月期GDP2次速報(8:50) 5年利付国債 (米)5月小売売上高 (米)4月企業在庫 (新)金融政策委員会 (韓)金融政策委員会 (伯)金融政策委員会	12 5月投入・産出物価指数(8:50) 4月鉱工業指数・確(13:30) 5月消費動向調査(14:00) (米)4月輸入物価 (米)6月シカゴ大消費者センサ(速) (欧)4月鉱工業生産 (仏)5月消費者物価
15 4月商業販売統計・確(13:30) 金融政策決定会合(～16日) (米)6月NY連銀指数 (米)4月対米証券投資 (米)6月NAHB住宅市場指数	16 日銀総裁定例記者会見(15:30) (米)5月住宅着工件数 (米)5月住宅許可件数 (米)5月鉱工業生産 (欧)5月消費者物価	17 1-3月期資金循環(8:50) 4月毎月勤労統計・確(10:30) 4月建設総合統計(14:00) 6月金融経済月報(14:00) 20年利付国債 (米)5月消費者物価 (欧)4月貿易収支 (土)金融政策委員会	18 6月ロイター短観(8:30) ※6月月例経済報告 (米)5月景気先行指数 (米)6月フィラ連銀指数	19 金融政策決定会合議事要旨(5月21,22日分)(8:50) (墨)金融政策委員会
22 4月第3次産業活動指数(8:50) 4-6月期法人企業景気予測調査(8:50) ※5月全国百貨店売上高(14:30) 5月コンビニエンスストア統計(16:00) ※(欧)6月サービス業PMI(速)	23 4月景気動向指数改訂(14:00) (米)5月FHFA住宅価格指数 (米)5月中古住宅販売件数	24 5月企業向けサービス価格指数(8:50) ※5月貿易統計(8:50) (米)5月耐久財受注 (米)5月新築住宅販売件数 (米)FOMC (欧)4月経常収支 ※(独)6月Ifo景況感指数	25 ※5月チェーンストア販売統計(14:00) 2年利付国債 (米)1-3月期GDP(確) (南ア)金融政策委員会	26 5月消費者物価・全(8:30) 6月消費者物価・都(8:30) 4月全産業活動指数(8:50) (米)5月個人所得・消費 (米)6月シカゴ大消費者センサ(確) (独)6月消費者物価(速) (仏)1-3月期GDP(確) (越)4-6月期GDP (新)1-3月期GDP
29 5月商業販売統計(8:50) 5月鉱工業指数(8:50) (米)6月ネット求人広告指数	30 5月労働力調査(8:30) 5月一般職業紹介状況(8:30) 5月家計調査(8:30) 5月毎月勤労統計(10:30) 5月住宅着工統計(14:00) (米)6月シカゴPMI (米)6月CB消費者信頼感指数 (欧)6月消費者物価(速) (英)1-3月期GDP(確) (土)1-3月期GDP	7/1 6月日銀短観(8:50) 6月自動車販売(14:00) 6月軽自動車販売(14:00) ※平成21年路線価 (米)6月IMS製造業指数 (米)5月中古住宅販売保留 (米)5月建設支出 (米)6月自動車販売 (欧)6月製造業PMI(確)	2 6月短観業種別計数及び調査全容(8:50) 6月マネタリーベース(8:50) 10年利付国債 (米)6月雇用統計 (米)5月製造業受注 (欧)5月生産者物価 (欧)ECB理事会	3 5月家計消費状況調査(14:00) (欧)6月サービス業PMI(確) (欧)5月小売売上高

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。